

一般国道322号 香春大任バイパス(4車線化) 【田川郡香春町～田川郡大任町】

1. 事業概要

1) 路線の概要

一般国道322号は、福岡県北九州市から田川郡香春町・大任町を経由して、福岡県久留米市に至る総延長約120kmの広域的な幹線道路であり、本県を南北方向に縦断し、地域の産業、物流、観光など経済活動を支えるとともに、道の駅などの防災拠点を結び地域の安全・安心にも寄与する重要な路線である。

2) 事業の必要性

① 一般国道322号では、本年11月に八丁峠道路、千手バイパスが同時に供用開始したところである。また、嘉麻市において嘉麻バイパス、朝倉市において甘木バイパス、大刀洗町において第2大刀洗バイパスが事業中であるが、これらの関連事業が完了すると、北九州市から久留米市に至る広域幹線道路が整備されることとなり、香春大任バイパスにおいて交通量の増加が見込まれる。

② 香春大任バイパスは、4車線で計画されていたが、八丁峠道路や嘉麻バイパスなど、関連事業の整備が確定していなかったことから、事業効果の早期発現を優先するため暫定2車線による整備を進めてきたところであり、令和2年春の開通を予定している。

これら関連事業の完了時期に合わせ、交通量の増加に対応するため、速やかに4車線化事業に着手する必要がある。

[暫定2車線: 17,200台/日 ⇒ 完成4車線: 24,600台/日]

3) 事業に期待される効果

一般国道322号香春大任バイパスの完成4車線整備により、以下の効果が期待される。

① (暫定2車線バイパスの交通混雑緩和)

4車線の整備による交通容量不足が解消されることで交通混雑の緩和が図られる。

② (田川地域の振興支援)

沿線地域から九州自動車道小倉南インターチェンジへの所要時間が短縮され、交流人口の増加や物流の効率化、企業の誘致、生産性の向上など、人流・物流の両面で田川地域の振興支援に寄与する。

③ (緊急輸送道路としての機能強化)

本路線の沿線には、防災備蓄倉庫などの機能が整備されている道の駅「香春」や「おおとう桜街道」、役場、消防署、インターチェンジ、病院といった災害時の防災拠点が複数存在する。

今回の4車線化整備により、大規模災害等の発生直後から、防災拠点を連絡し、早急な避難、救援・救護や人員・物資の安全で円滑な通行や輸送を行う、緊急輸送道路1次ネットワークの機能が強化される。

2. 暫定2車線バイパスの状況

幅員: W=6.5(10.5~11.5)m

交通量(車線数): 17,200台/日(2車線)(R12年推計)

混雑度: 1.68(暫定2車線)(関連事業完了後のR12年推計)

3. 計画内容

事業箇所: 福岡県田川郡香春町大字採銅所～田川郡大任町大字今任原

道路の種級・設計速度: 第3種第2級 V=60km/h

延長・幅員: L=13.0km, W=13.0(21.5~23.5)m(4車線)

全体事業費: C=16,800百万円

事業着手年度: 令和2年度

事業完成予定年度: 令和9年度

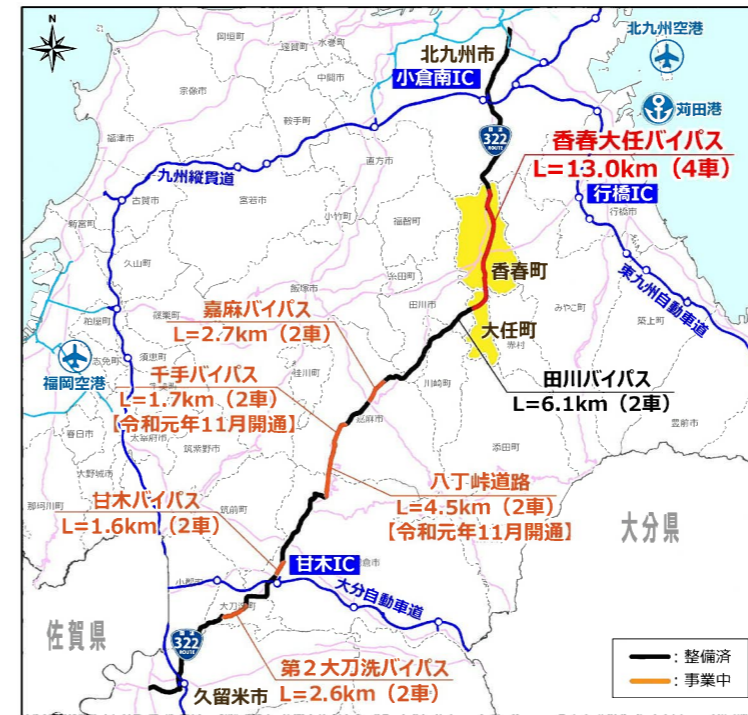
計画交通量(車線数): 24,600台/日(4車線)(R12年推計)

費用便益比(B/C): 1.74

4. その他特記事項

陳情書・要望書: 令和元年6月4日 要望書 田川地域国道整備促進期成会から提出

【位置図】



【平面図】



【横断図】

